

支援者の皆様へ

あけましておめでとうございます。

初春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今年度も部員一丸となり、今年度大会に向け日々努力していく所存であります。

今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

それでは 12 月の報告を始めさせていただきます。

1. 全体活動

・ 国士舘大学見学

12 月 8 日に国士舘大学で学生フォーミュラ活動を行っている、Kokushikan Racing を見学させていただきました。

トップレベルのチームの活動に触れることができ、部員一同とても刺激をうけ、今年度のマシン製作へとつなげることができました。

関係者の皆様ありがとうございました。

・ 部室清掃

12 月 16 日に部室の清掃をおこないました。

活動を続けるにあたり、物品の管理等の強化を行いました。

2. 各部署活動

・ エンジン班

ラジエターに必要な冷却容量の見積もりを行いました。

日本大会は 9 月の静岡で行われるため、放熱は大変重要であるため慎重に計算を行い、必要なラジエターサイズ、形状について決定いたしました。

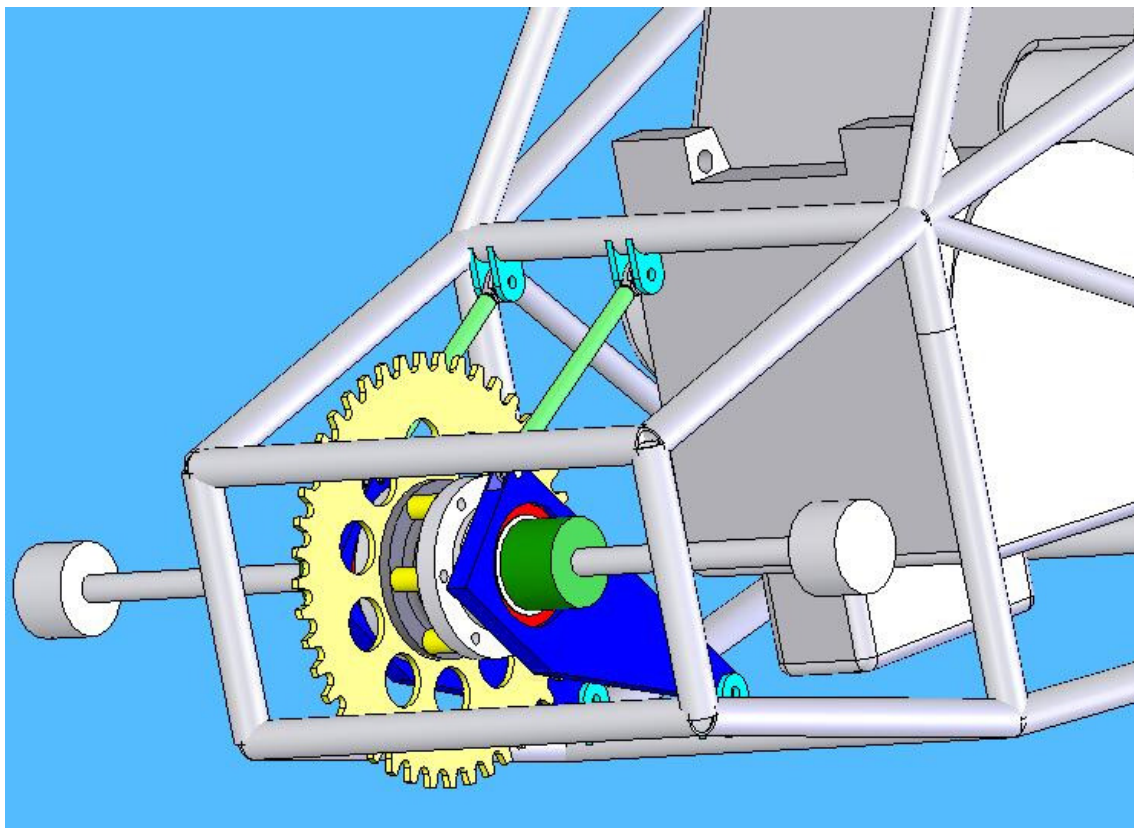
また、吸排気周りの整合、解析等をおこない、エンジンに関しての仕様を煮詰めました。

電装班でもエンジン周りに関する電装系について確認いたしました。

また統合車両測定計画を始動いたしました。

この計画は車両に取り付けたセンサー類にて車両の状態について計測、記録し、セッティング、開発に役立てるというものあり、今後の部の活動について大きなものとなるはずです。

ドライブトレインでは必要な二次スプロケットを二種類用意し、車両シェイクダウン後、実走測定にてマッチングし、良いほうを選択するという形式をとりました。



- ・ **シャシー班**

前月まで、煮詰めていた設計を反省、改良いたしました。

足回りのフロントワイドトレッド化、さらにショートホイールベース化により、更なる操舵性能、旋回性能の確保を目指します。



また写真上でのドライバー位置確認を行い、今年度フレームの設計の整合を行いました。整合の結果、ステアリング位置の調整、エンジンルーム・スプロケットルームサイズ、を大幅変更しました。



また、それに伴いアップライト形状の改良を行いました。

今後の方針

12月はそれまで行っていた設計の検討、改良を繰り返し煮詰めることに専念いたしました。

また機械製品との全体の整合にも考慮し最適化を行いました。

今後は、各部位の材料の確保、部品スポンサーとの交渉を急ぎ行います。

5月のシェイクダウンに向け部員一同邁進していきます。

またデザイン、コスト等に関しても最善の物が作れるよう、努力していきます。

最後に

参加校数制限等の全日本学生フォーミュラ大会に関しても大きな変更が発表され、来年度大会は大きな分岐点であると考えております。

それに追随できるよう努力していきたいと思っております。